

【2日目/5月23日】

1日目は朝早く自宅を出て、相当にあちこちに移動したので、昨夜は「枕に頭をつける前」に寝ていました。どうやら徹夜で眠っていたようです。



東京での生活と同じように午前6時半頃に起きたのですが、まだ空がうす暗いのに驚きました。それもそのはず、日の出が東京よりもずっと遅いのです。東京の経度はおよそ東経 139°、石垣島の経度はおよそ東経 124° で 15° も西に位置しています。日本は南北にも東西にも広い範囲に国土を持ちますが、全国一律に「日本標準時」で統一されています。従って、石垣島の日の出の時刻は東京よりも約1時間遅れることになります。これは太陽の南中や日没の時刻、それに天体の見え方についても同様です。

【2024年5月23日の太陽データ】

- ・東京; 日出 4:30 南中 11:37 日没 18:45
- ・石垣島; 日出 5:57 南中 12:40 日没 19:24

夏至に近い今の時期は、緯度の高い東京のほうが、石垣島よりも「昼の時間」が長いことです。



今日は、離島めぐりの船旅なので、朝食もそこそこに、さっそく出発です。レンタカーにはカーナビが標

準装備でした。私は普段はほとんどカーナビを頼らないのですが、知らない土地の場合、特に「自分の現在位置」を知るのにとっても役立ちます。



石垣島の市街地にはコンビニがありますが、セブンイレブンやローソンはなく、全部ファミリーマートでした。このファミマは何となく沖縄風ですね。



石垣市には国道 390 号線が通っています。この国道は起点が石垣市 (石垣港)、宮古島を通過して、終点が沖縄本島的那覇市という国道です。延長 550km のうち約 500km が「海上」という非常に変わった国道です。石垣島よりも西の離島には国道はありません。



石垣島の魅力は、島そのものの風景や名所もありますが、その周辺 (西側) に日帰りで往復できる「離島」がいくつも存在することでしょう。今日はその「島巡り」の為に、まずは石垣港の一角にある「ユングレナ

石垣港離島ターミナル」にやってきました。



ここで「島の所属」についてちょっと整理しておきます。鹿児島県・沖縄県の島は以下のように分類されています。

0 南西諸島（鹿児島県・沖縄県）

1 薩南諸島（鹿児島県）

- 1-1 大隅諸島；屋久島・種子島等
- 1-2 吐噶喇列島；中之島・宝島等
- 1-3 奄美群島；奄美大島・喜界島等

2 琉球諸島（沖縄県）

- 2-1 沖縄諸島
 - 2-1-1 沖縄本島・久米島等
 - 2-1-2 慶良間列島；渡嘉敷島等
- 2-2 先島諸島
 - 2-2-1 宮古列島；宮古島・多良間島等
 - 2-2-2 **八重山列島；石垣島・西表島等**
 - 2-2-3 尖閣諸島；魚釣島・大正島等

3 大東諸島（沖縄県）；北大東島・南大東島

と、なかなか複雑です。つまり、石垣島との周辺の島嶼は、「南西諸島」の「琉球諸島」の「先島諸島」の「八重山列島」に属しているということになります。



今回私が旅行した島は、「石垣島」「西表島」「由布

島（西表島の付属島）」「竹富島」「与那国島」の5島ですが、これらはすべて「八重山列島」に含まれています。



石垣島を中心にして八重山列島に船舶を運行しているのは「八重山観光フェリー」と「安栄観光」の2社があり、カウンターや事務所は同じターミナルに入っています。今回は「安栄観光」の船に乗りました。



離島めぐりは、各連絡船の切符をそれぞれ買って、自由に巡るのが良いのですが、今回は日帰りで3つの島を巡り、レンタカーの必要もない、セット券を購入しました。カウンターでは、こんな長細いチケットを渡されました。昭和時代に流行した、国鉄の「ルート周遊券」のような切符だなと思いました。



梅雨時の平日というのに、待合室は結構混んでいました。出航まで少し時間があります。